

ご協力いただいたみなさまのご紹介

“アンバサダー”として、脱炭素チャレンジカップを盛り上げて頂きました！

アンバサダー専用ロゴ

これまで前身の低炭素杯と脱炭素チャレンジカップに出場したことがあり、本取組に“愛”があふれ、自身の活動フィールドを生かしながら、草の根的に広めて頂くことを目的に、2017年よりアンバサダー制度を実施しています。今年度は6名の方に、脱炭素チャレンジカップアンバサダーとして活躍していただきました！



● 元 栃木農業高等学校 教諭
小森 芳次 様

当大会は、世代を超え脱炭素社会構築を目指し、全国各地の多種多様の優れた活動を発表する場です。私達、栃木農業高校は、豊かな地域資源の保全・生活文化の復活継承に取り組んだ結果、低炭素杯2012、2013の全国大会にて2年連続環境大臣賞グランプリを受賞させていただきました。

この大会で得られた世代間連携・地域おこし活動などの体験報告は、卒業後、社会人として「生きる力」を育む原動力となっています。



● ファインモーターズスクール 広報チーム
齊藤 千絵 様

脱炭素チャレンジカップのゆるっとした温かい雰囲気が好きです。私は2016年の低炭素杯でエコドライブを様々な世代に啓発する内容を発表し、文部科学大臣賞を頂きました。その後はアンバサダーとしてゲスト審査員や当日受付のお手伝いしています。会場には洗練されたアイデアを持った様々な地域や世代の方が集まります。世の中にまだ知られていない取り組みも沢山あって、まさに宝箱のような大会だと思います。そんな脱炭素チャレンジカップをもっと多くの人に知ってもらいたいです。



(写真右、左は五箇先生)

● ホタルネットワークmito
高橋 克英 様

気さくで良い人たちがたくさんいる低炭素杯。2017年に「ホタルネットワークmito英宏ecoスクールプロジェクト」で寸劇を交えて披露した結果、環境大臣賞金賞をいただきました。その後も会場に足を運び、脱炭素チャレンジカップ2020では講演された憧れの五箇公一先生とパネルディスカッションに同席、低炭素杯をきっかけに「セブンの森づくり」に発展した取り組みを発表させていただきました。大学生になり、アンバサダーとしてまたこの場所に戻ってきたことに感謝しています。大会をさらに広げて仲間を増やしていけたらと思います。



● FMおとくに 事務局長
木本 直樹 様

昨年に続いてプレゼンテーションはオンラインとなりましたが、今回は会場のスクリーンを通じて日々地域で活動する皆さんのお姿を拝見し、全国の皆さん、大会関係者の皆さんとの繋がりを実感できた大会でした。気候変動はこれまでに経験したことのない大規模な台風や豪雨など、私たちの暮らしに与える影響は大きくなり、地域紛争や戦争など人間のエゴも表面化しています。緑豊かな地球を次世代に引き継ぐため、地域活動の輪が広がることを願っています。微力ながらラジオでの情報発信のお手伝いをさせていただきます。必要であればご連絡お待ちしております。



● エコドライブ研究所 代表
福田 慎太郎 様

私の大好きな低炭素杯。脱炭素チャレンジカップに変わってからもアットホームで温かみのある雰囲気は変わりません。それはオンライン開催になっても同じです。2014年の初ファイナリストから、3度目の正直で文部科学大臣賞を頂き、その後もずっと関わらせていただいているこの大会。今年もアンバサダーを務めさせていただきます嬉しく思っています。これからも脱炭素社会を目指す皆さまと一緒に大会を盛り上げていければ幸いです。さあ、みなさんもエコドライブで脱炭素に向かいましょう。



● 逆川子どもエコクラブ クラブメンバー
小島 大知 様

始めて低炭素杯に出場したのは小学4年の2017年、学校の裏手にある耕作放棄地を再生した発表でした。その後、2018年にワイズユースを学びらむサークルネイチャーガイドに登録、2019年に茨城県地球温暖化防止活動推進センターのエコカレッジを受講して温暖化や気候変動、SDGsやESGなどを学び、国内最少年の地球温暖化防止活動推進員に任命されました。脱炭素チャレンジカップとなった2020年は、「地域を超えたこともたちのSDGs」を披露させていただきました。大会を通じ、脱炭素の輪が広がることを期待します。

“協力団体”として広報面・当日のスタッフとしてもご協力いただきました！

子どもエコクラブ全国事務局
(公益財団法人 日本環境協会)

子どもエコクラブとは、幼児から高校生までなら誰でも参加できる環境活動のクラブで、現在約1,700クラブ、約9万人の子どもたちが全国で活動しています。

「ジュニア・キッズ部門」への子供たちの応募を促進するべく、子どもエコクラブに協力いただき、登録クラブにエントリー募集の声がけをしていただきました。今回は、ファイナリストの中で3団体が子どもエコクラブの登録/関係団体でした！



自動車教習所
ファインモーターズスクール

ファインモーターズスクールは、低炭素杯に何度も出場、受賞している常連団体で、免許取得の際に自然とエコドライブが身につく「楽エコ教習」を軸に、小学校でのエコドライブ寸劇や、自治体職員向けのエコドライブ指導者養成など、多様な取り組みを通じて「エコドライブ」の普及を行う自動車教習所です。今年度は当日に、受付スタッフとして、事務局と一緒に汗を流していただきました！

